



## 今月の特集「人に慣れる」ということ (その1 スタッフに慣れる)

《作業療法士・森上》

皆さん、こんにちは。あん School 作業療法士の森上達也です。  
これまで「場に慣れること」「活動に慣れること」について紹介してきました。それに続き、今回のテーマは、「人に慣れること」についてです。

「人に慣れること」の「人」とは、次の二つありまして、それは、「**スタッフ**」と「**児童**」です。したがって、「スタッフ」と「児童」という2つの「人に慣れる」を2回に渡って解説しようと思います。

人は日々変化しやすく、昨日話していたことが、その翌日も同じだとは限りません。その変化に児童は戸惑い、慣れにくい環境が生まれていきます。そのため、まずは「**スタッフに慣れること**」から始めていきます。

あん School では、個々の児童にあわせた関わり方を大切にしています。

- 話すことが苦手な児童には、一緒に活動を通して関わっていくことで信頼関係を作っていきます。
- 活動が苦手な児童には、会話を通してコミュニケーションを図りながら

信頼関係を作っていきます。  
■どちらも苦手な児童には、ありのままを受け入れ、そばにいて場を共有するところから始めます。時間をかけてお互いを知ることによって信頼関係を作っていきます。



上記のようにあん School では、個々の児童にあわせた関わり方をしているのが特色の一つになっています。様々な得意なこと、苦手なことが存在する中で、その児童にとってストレスが少なく慣れていける環境を設定して関わっています。

そして、「**スタッフと関われた!**」という成功体験を積み重ねることが重要です。その積み重ねを通して、スタッフを自分にとって侵襲性の低い(自分に悪影響がない)存在だと認識できるようになり、別の人と関わってみようという自信に繋がっていきます。

次回は「人に慣れること」の「児童編」について取り上げます。



## 人に慣れること「先生あのね！」

《保育士・矢島》

こんにちは。あん School 保育士 矢島です。

絵を描いたり、段ボールを使って制作をしたりするのが得意な B さん。あん School ではいつも「今日は何を作ろうかな」と創作室に移動して好きなものを作っています。大好きな虫を作ったり、弓矢、鎧を作ったり。

あん School に通所をはじめた頃は、1人で黙々と制作していました。自分からお話することが少し苦手なお子さんではありましたが、まずは**スタッフと場を共有**することから始めました。

B さんが制作している様子をそっと見守ること。それを積み重ねながら、制作の話題を通して**スタッフが話しかけると、少しずつお話をしてくれる**ようになってきました。

- 「今日は〇〇作るのかな」
- 「いいね!何か必要なものはあるかな」
- 「段ボールとガムテープ、ハサミ、紐が欲しいかな」
- 「わかったよ。一緒に用意しよう」
- 「うん!ここはどうやって作るのかな」

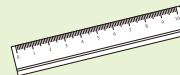


「できた!」  
「すごいね!先生やお友達に見せてもよいか」  
「いいよ!」  
スタッフやお友達に出来上がった作品を見せると、みんな「すごい!」と集まって B さんを褒めていました。褒められ、認めてもらい嬉しそうにする B さん。最近は本人から、「今日はこれを作ろうかな。ガムテープを貸してください」「ここをこうしたいから、細い紐が欲しいんだよね。できたよ!」とたくさんお話してくれるようになってきました。

少しずつ**信頼関係が築けている**ようで嬉しく思います。

「また教えて」と B さんに作り方を聞きにきたお友達を受け入れ、一緒に作ったり、教えたりと、関わる姿も少しずつ見られるようになってきています。

これからも「スタッフと関われた!」という成功体験を積み重ねていけるように、そして、お友達との関わりにつなげていけるように、仲立ちをして環境を整えていきたいです。



# あん School のイベント (夏休み編)

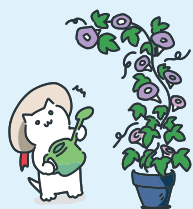
《児童指導員・中川》

皆さんこんにちは。あん School 児童指導員の中川です。  
前回も好評だったあん School のイベントの紹介をします。  
今回は夏休みの外部でのイベント活動をどうぞ。

## ブルーベリー狩り



ブルーベリーガーデンゆう様でブルーベリー狩りを行いました。今回は親子参加でしたので、ご家族でたくさんのブルーベリーを摘みました。大粒のブルーベリーはとても甘く、夏を感じる味でした。どの木になるブルーベリーが一番美味しいのかを皆で食べ比べをして決めるなど、自然と笑顔がこぼれる場面がありました。



## 吹奏楽演奏会

吹奏楽の方に生演奏していただき、楽器も触らせていただきました。みんなが知っているトランペットや鉄琴以外にも、カホンと呼ばれる椅子のような楽器も体験しました。叩いてみるときれいな音が鳴って、子供たちも楽しく演奏することができました。その後、タブレットの端末に入っている音楽アプリで同じ音を探するなど、随所に楽しさを見出す会となりました。



## ベリーダンス鑑賞

皆さんはベリーダンスをご存知でしょうか。美しい衣装をまとい、体に音が鳴る装飾をつけて踊ったり、扇子や傘を使って踊ったりするエジプト発祥のダンスです。今回は実際の演目を見せてもらった後に、実際に身につけて踊りを体験しました。最初は、動かし方がわからず、「どうやるの?」と聞いていました。慣れてくると、体に付けた装飾の音が鳴ると「楽しい!」と沢山体を動かして鳴らしました。また、扇子にベールがついたものも、その場で回るときれいに舞うため、皆で楽しく踊ることができました。



# あん School の学習支援

《児童指導員・武者》



こんにちは。児童指導員の武者です。

今回は、あん School での学習の様子をご紹介します。

子供たちはあん School へ来所すると、まず学習に取り組みます。宿題のあるお子さんは宿題に取り組み、宿題のないお子さんや宿題を終えたお子さんは、「脳機能バランス」や「すらら」に取り組みます。それぞれの学習を終えてから自由時間になり、自分の好きな作業や遊びを始めるといったスケジュールになっています。

このような中、あん School の特長の一つに「すらら」&「学習マップ」があります。「すらら」は無学年式のオンライン教材で、あん School では小学校 4 教科と中学校 5 教科を学習することができます。動画のレクチャーから始まり、ゲームやドリルを様々なキャラクターと共に進めていきます。ゲームやパートナー育成の機能もあり、そのために頑張っている子も多いです。一般的には、勉強ばかりだと飽きてしまい、続けることが難しいお子さんもいるかもしれませんが、しかし、飽きずに継続して学習できるように「すらら」&「学習マップ」を活用して支援しています。「学習マップ」とは、お子さんに合わせた学習計画表です。

お子さんにとってわからないことは何か、どこから復習すればよいのか、アセスメントにより把握し、無理のないペースで計画を立てます。

「算数は四則計算から」「英語はアルファベットから」等の戻り学習ができ、わからないところから復習ができるようになっています。「学習マップ」はグループ内で運営している塾において、10 以上に渡って活用されているものです。私たちは、これをあん School 用に仕立て上げて、専用のものを制作しました。塾のノウハウを生かして支援に役立てています。

今回、あん School での学習について紹介しました。あん School に安心して通ってもらうことを第一に、お子さんに合わせた支援を行っていきます。その中に「すらら」&「学習マップ」があるということです。



次回予告 | 2023 年  
1 月発行

## 特集

「上諏訪近くに  
新施設オープン!」

## 山内康彦先生の「第2回保護者のための特別支援教育講演会」

日時:令和4年11月6日(日) ①9時半~11時半 ②13時~15時  
場所:茅野市中央公民館

午前講演会① ~不登校でも支援級でも大丈夫~ 『特別支援が必要な生徒の高校進学の話』  
午後講演会② ~なるほど! 今日からすぐに使える具体的な学習支援~  
『特別支援が必要な子供の学習支援(国語・算数)』



一般社団法人  
障がい児成長支援協会  
障がい児成長支援協会諏訪地区支部長  
ライフライク(株)